



ありがとう、ロータリアン！ ⑥

人生を支える、大切な出会い



米山学友

ヴ・レ・ビック・フーオンさん

出身：ベトナム

奨学期間：2008 - 09

学校名：東京工業大学大学院

世話クラブ：横浜港北RC

人生には三つの大切な出会いがあるそうです。一つ目は「人との出会い」、二つ目は「本との出会い」、三つ目は「仕事との出会い」。私のカウンセラー、亀ヶ谷邦博さんは、私にこの三つの出会いをもたらしてくれました。私にとって、とても大切な出会いです。

カウンセラー夫妻の明るさに学んで

私が米山記念奨学生になったのは修士2年目、建築構造に関する解析や実験をテーマとした研究室に所属し、毎日終電まで研究に取り組む生活でした。奨学金のおかげで研究に集中できましたが、疲れたり、研究が進まなかったりして、ストレスを感じることもよくありました。

そんなとき、いつも亀ヶ谷さんと夫人の純子さんが声をかけて、励ましてくれました。お二人は、とても明るく、表情豊かで、情熱的で、積極的でした。お二人と話しているとエネルギーをもらい、負けないように頑張ろうという気持ちになりました。そのうち、お二人のように何事も積極的に考えれば、元気になり、行動力アップにもつながることがわかってきました。

お二人は、私の指導教員のところへもあいさつにこられ、論文発表会や学位授与式にも出席してくれました。自分の親が日本にいても、これほど世話をしてもらえないだろうと、私は心から感動し、感謝しました。

突然訪れた悲しい別れ

卒業後、私は母国で大規模な建造物や都市開発に携わりたいという夢に向け、そうしたプロジェクトを数多く

手がける日本の大手建築設計事務所に就職しました。

亀ヶ谷さんは建築にも造詣が深く、私が知らないことも知っていたりしました。私の成功と母国への貢献を望んでくれて、会うたびに、「今はどんな建物を設計しているの」「ベトナムに関わる仕事をしているの」と聞かれ、話すと喜んでくれました。

これからもずっと私の成長や、頑張る姿を見守ってくれると思っていました。カウンセラーと奨学生は、世代も、国も文化も違います。私と亀ヶ谷夫妻はそのギャップを超えて少しずつ絆をつくってきましたが、私が経験を積みばいつかはそれもなくなり、亀ヶ谷さんと対等に議論できる時がやって来る、と信じていました。

けれども、予期せぬ悲しい別れが突然やってきました。亀ヶ谷さんは昨年4月、不慮の事故に遭い、帰らぬ人となったのです。

いなくなって、気づいたこと

出会いから3年、当たり前のようにいてくれた存在がいなくなって、気づいたことがたくさんあります。この3年間、私の人生のイベントには、いつもお二人がいてくれました。毎年恒例の亀ヶ谷家の集まりにも呼んでくれて、本当に家族のように接してくれました。

私の母国について何でも知りたがって、私よりベトナムのことが詳しくなりました。2010年、旧正月の帰省を前に「よかったら一緒に行って、母に会っていただけ



亀ヶ谷夫妻（中央）、フーオンさんの実家で

いつかは訪れる身近な人との別れ。母国を離れ、日本で研究に打ち込む米山記念奨学生にとって、あるときは親代わりとなり、あるときは恩師のように人生を導いてくれる「カウンセラー」という存在も、その例外ではありません。昨年4月に事故で急逝されたカウンセラーをしのび、ベトナム出身の米山学友、ヴ・レ・ビック・フーオンさんが「私の人生の財産になっている」と語る、その出会いを振り返って、寄稿してくれました。

ませんか」とお誘いすると、すでに決まっていた予定をキャンセルして、私の実家を夫婦で訪問してくれました(本誌2010年7月号縦組みP18～19参照)。

カウンセラーの時も、それが終わった後も、亀ヶ谷さんは多くのロータリアンや知人の方を紹介してくれました。いろいろな職業や年齢の方と話すのが面白く、視野が広がり、新しい発想ができるようになりました。本来なら得られないたくさんの出会いを、亀ヶ谷夫妻とロータリーの活動を通じて得られました。

お互いのギャップを超えて

読書家の亀ヶ谷さんは、よくご自身の好きな本を私に薦めてくれました。特に経営学者のピーター・ドラッカーがお好きで、読みやすい入門書を私にくれました。小説はよく読みますが、私にとって社会や経済の本は難しく、忙しいと理由をつけて、ずっと棚にしまっていました。亀ヶ谷さんが亡くなった後、それらの本を手に取り、読み終えました。社会人として会社組織で働いている今は思い当たることがたくさんあり、こんなに読みやすくとまとめた本があるのだと感動しました。亀ヶ谷さんのおかげで、新たな本との出会いを得られ、それによって仕事との関わり方を教わりました。

亀ヶ谷さんとの出会いは、私の人生を支えてくれます。「もっと感謝の気持ちを伝えておけば……」、「こう

しておけばよかった」と、後悔の気持ちは消えませんが、これからは私が、大切な人に、大切になるかもしれないすべての人に対し、亀ヶ谷夫妻のように接し、お互いのギャップを超えていけるよう努力したいと思います。

故・亀ヶ谷邦博氏夫人・純子さんから一言

「何事も経験してみないとわからないから」と、主人がガバナーの時に手を挙げ、夫婦で協力して務めた、初めての米山カウンセラーでした。慎み深い彼女に対し、最初はどこまで踏み込んでいいのかと、遠慮や戸惑いが大きかったのですが、時間をかけて少しずつ、本当の家族のような関係を築けたと思います。深く付き合うほどお互いへの理解が深まり、フーオンも私たちも成長することができました。昨年末、ベトナムで挙げたフーオンの結婚式に、孫たちを連れて参列しました。主人はきっと「花嫁の父」のような気持ちで、天国から見ていると思います。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。
TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281
Eメール: mail@rotary-yoneyama.or.jp

タイで米山学友会設立！ —— R I 国際大会でブース出展、および「米山ナイト」のご案内



タイの米山学友たちと再会の好機

来月5月6～9日に開催されるバンコク国際大会で、米山記念奨学会が「友愛の家」にブース出展します(ブースNo.102)。タイの米山学友が皆さまをお迎えますので、期間中、ぜひお立ち寄りください。また、海外4番目となる米山学友会がタイで設立されることになり、5月6日夜に創立総会を兼ねた「米山ナイト」を下記の通り開催します。登録の締め切りは4月16日までですので、お早めにご登録をお願いいたします。
日時: 5月6日午後5時半～ 場所: ロイヤルオーキッドシェラトン2階・ボンパドゥール 会費: 5,000円。※詳細・お申し込みは当会ホームページをご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>